

研究課題名	小腸疾患における画像強調内視鏡の有用性に関する検討
研究期間	実施許可日 ～ 2027年 3月 31日
研究の対象	2010年1月～2024年3月までに広島大学病院消化器内科で小腸疾患に対して小腸内視鏡の画像強調内視鏡検査を使用した症例
研究の目的・方法	研究目的：小腸疾患の診断能向上を目的とし、通常内視鏡像と画像強調像を比較し、小腸疾患における画像強調内視鏡の有用性を検討します。 研究の方法：対象症例に関する臨床情報を電子カルテから収集し後ろ向き調査を行います
研究に用いる試料・情報の種類	研究に用いるデータは臨床情報（年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、治療内容）、X線画像、内視鏡画像等です。
外部への試料・情報の提供	ありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、個人情報を識別できるものは削除し、どなたか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡志郎
その他	特記事項なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5538 Fax：082-257-2930 広島大学医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 大学院生 重信 修宇也